



プロダクト・コマーシャルを担当するピエール・デュボアさん、印刷物などを担当する夫人のキャロルさん。



デュボア・デブラにおけるクロノグラフ・モジュールのスペシャリストのバスケル・デュボアさん。

3つのクロノグラフ積算計を同軸上に配したクロノグラフによって時計愛好家たちの注目を集めるピエール・ドゥロッシュ。創業は2004年というが、経営者のピエール・デュボアさんはデュボア・デブラの経営者を兄弟にもつ強みと時計作りへの高い情熱を生かし、ハイクオリティでユニークな作品で存在感を示している。

PIERRE DEROCH

## ピエール・ドゥロッシュ

◎創業年/2004年 ◎創業者/ピエール・デュボア 代表者/ピエール・デュボア  
◎本社所在地/リュウ(スイス) ◎従業員数/2名

小規模ながら、ユニークなコンセプトの複雑時計で注目される



ユウ(ユウ)に設立されたビエール・ドゥロッシュ。創業からわずか3年という新興時計ブランドながら、従来にはないユニークな機構のクロノグラフを世に送り出したことで、時計愛好家たちの注目を浴びる存在となっている。

そのクロノグラフというのが「スプリットロック」である。文字盤(84ページ)をご覧になれば分かるように、クロノグラフの積算計を6時位置のスモール文字盤に集約したことで、クロノグラフ秒針、60分積算針、12時間積算針が同軸という大胆なデザインを実現した。この機構を開発したのはビエール・ドゥロッシュの創業者であるビエール・デュボアさんの兄と弟が経営するデュボア・デブラ社。ビエールさんは同族の血を生かし、デュボア・デブラが開発中であったクロノグラフ・モジュールを独占的に使用する権利を得ることに成功して、自ら興したビエール・ドゥロッシュの新作に取り入れたのである。

「スプリットロック」のユニークなクロノグラフ機構を実現した秘密は、駆動部とクロノグラフ部をセパレートしたムーブメント構造にある。たとえばETA2894の



ビエール・ドゥロッシュの本社はデュボア・デブラ創業一族の生家の一室にある。工場とはわずか200mの距離だ。

違い、このムーブメントは駆動部とクロノグラフ部が並列になっている。「エネルギーの伝達をどのように行なうかが難しかった」と開発を担当したビエールさんの弟、バスカル・デュボアさんが言うように、いかにしてゼンマイのトルクを無駄にすることなくクロノグラフ針を動かすかがポイントとなっている。このため、回転軸の中心に据えられたドライブリング・ホイールからセンターのトランスミッション・ホイールを介してクロノグラフ・モジュールにパワーを伝えるというメカニズムが開発された。クロノグラフのスタート/ストップ・ボタンは4時位置、リセットボタンは8時位置となっており、そのレイアウトゆえだ。これに対して、同社のライオンアップに通常のクロノグラフを加えるために誕生したのが「グランドクリフ」。こちらはデュボア・デブラ社の既存モジュールを改造し、視認性を高めた大型のインダイヤルと読みやすいカウンターを配置。さらにはリウズとブッシュポタンをケース右側に一直線にレイアウト(従来のモジュールでは右側に一列にはならなかった)した。

前述したようにビエール・デュ



ジュウ渓谷にあるデュボア・デブラ社の新工場では、商品カタログに載る通常モジュールの製造ほか、時計メーカーの依頼によるモジュールの特別開発も行なわれている。バスカルさんによれば、ジャガー・ルクルト以外のほぼすべての有名時計ブランドから仕事の依頼がくるとのこと。2006年1月にはDPRMという会社を買収し、3つの生産拠点で年間約15万個のモジュールを製造する。

ドゥロッシュに採用されたモジュールがほかのメーカーに供給されることはあり得ない。これは大きなアドバンテージといえるが、ムーブメントだけでなく、文字盤、針、ケースの製造をすべて外部に依頼する小規模なブランドにとって、他社との差別化はつねに念頭に置かねばならない問題だ。

「ブランドの経営方法として、大きな予算を組んでマーケティング中心に展開する会社もありますが、私たちの規模ではそれは不可能です。そこで、いかに他社と違ったプロダクトを作るかということが、われわれにとって、もっとも大切な事になります」と、ビエール・デュボアさんは熱く語る。そして、最後にデュボア・デブラ社に対する注文も忘れなかった。

「伝統的な製造技術を取り入れ、美しい仕上がりのプチ・コンプリケーションを搭載したモデル。少数生産で、少し値段は高くともほかの人をもっていないプロダクトをわれわれは提供したい。そのためには注文数の少ないブランドも忘れないでほしいということです。多くのサプライヤーが、大きなグループの大型注文に追われ、小さいブランドの部品供給が難しくな

## SPLITROCK スプリットロック



クロノグラフ秒針と60分・12時間積算計を6時位置のスマールダイヤルに配し、クロノグラフ用のプッシュボタンを4時と8時の側面に装備したユニークな構造をもつ。そもそもこのアイデアはデュボア・デュラ社がクォーツ・ムーブメント用として30年ほど前に考案したものだという。ETA 2671ベースの角型ムーブメントも極めて独創的なデザインだ。秒針停止機能付き。



自動巻きCal.PDR4001-1。毎時2万8800振動。パワーリザーブ約37時間。ステンレススチール・ケース。  
カーフ・ストラップ。シースルー・バック。3気圧防水。ケース縦46×横32mm。価格109万2000円

PIERRE DEROCHE COLLECTION

## SPLITROCK スプリットロック



2006年のパゼルで発表された最新モデル。日付表示を3時から12時位置に変更し、ワイドな小窓の採用によって視認性が向上した。また、インデックスはアラビア数字のみとなったため、すっきりとしたデザインとなり、時間も読みやすくなっている。日付表示の下に配された扇型の目盛はインジケータではなくスマールセコンド。秒針停止機能付き。

自動巻きCal.PDR4001-2。毎時2万8800振動。パワーリザーブ約37時間。ステンレススチール・ケース。  
ラバー・ストラップ。シースルー・バック。3気圧防水。ケース縦46×横32mm。価格122万8500円